

授業科目名・形態	精神看護方法論Ⅰ 演習	必修・選択の別	必修	単位数	1
担当者氏名	平井 豊美	実務経験の有無	有	開講期	2年前期

【授業の主題】

精神疾患の症状を正しく理解し、精神疾患をもつ人を正しく理解することができるように、その能力を養う。看護の先駆者は優れた看護理論を考案し、実践してきた。現代は、症状の再燃を予防するために、患者のレジリエンスに働きかける看護が実践され、退院促進を行っている。対象理解、環境との関わり等、精神科看護師に求められている役割について学ぶ。

【到達目標】

1. 精神保健看護の動向を踏まえ、対象者の看護を学習する。
2. 対象者に対する急性期の看護及び慢性期の看護の基本を理解し、看護理論が適用できる。

【授業計画・内容】

- 第1回 精神臨床看護学とは・精神科看護師の役割
- 第2回 患者―看護師の発展過程の理論とモデル
- 第3回 自己の振り返りの看護技術
- 第4回 セルフケアの援助 ①日常生活の援助
- 第5回 セルフケアの援助 ②服薬、活動と休息、対人関係
- 第6回 精神看護の看護過程 ①アセスメント
- 第7回 精神看護の看護過程 ②ケアプラン・実施・評価
- 第8回 生きる力と強さ ①ストレングス ②リカバリ ③エンパワメント
- 第9回 精神疾患患者の理解 ①患者のとらえ方
- 第10回 精神疾患患者の理解 ②入院時の看護
- 第11回 安全管理とリスクマネジメント ①環境整備 ②自殺・自傷行為 ③暴力
- 第12回 安全管理とリスクマネジメント ④誤薬 ⑤転倒・転落 ⑥誤嚥・窒息
- 第13回 安全管理とリスクマネジメント ⑦隔離・身体拘束 ⑧無断離院
- 第14回 急性期・回復期の看護及び慢性期の看護・退院支援
- 第15回 「精神看護に必要なリスクマネジメント」(ゲストスピーカー：東台病院主任看護師)

【授業実施方法】

講義形式で行い、適宜グループワーク等を取り入れる。

【授業準備】

その日学んだ授業内容は教科書および配布資料に目を通して復習し、次回の講義内容について予習を行なうこと。

【主な関連する科目】

「病態治療学Ⅲ(精神疾患)」「精神看護方法論Ⅱ」「精神看護学実習」

【教科書等】

川野雅資編集 「精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学」 ヌーベルヒロカワ出版

【参考文献】

授業中に適宜紹介する。

【成績評価方法】

期末定期試験(80%)、課題レポート・提出物(10%)、受講態度・演習への取り組み(10%)により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

精神科看護師の実務経験から得た技術や知識を授業に活かしていきたい。

【学生へのメッセージ】

- ・ 授業中に行なうグループワーク時は積極的に参加して下さい。
- ・ 日頃から精神疾患および精神疾患患者に対して関心を持ち、世界の医療の動向に注意・関心を払うようにして下さい。